

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第91回）に係る面談（検討会后）
2. 日時：令和3年6月7日（月） 17時00分～17時30分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、林田管理官補佐、大辻室長補佐、久川係員、塩唐松係員  
福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 担当3名

（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

○原子力規制庁と東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）は、第91回特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）における指摘事項について認識を共有するとともに、原子力規制庁は以下のコメントを伝えた。

【次回検討会の議題について】

✓ 次回検討会の議題については選定し次第、早期に東京電力に伝える予定であること。

【ALPS スラリーの安全な保管と今後の対策について】

✓ 高性能容器（HIC）内のスラリーの移替え作業の安全上の対策については、作業開始前に別途面談において原子力規制庁の要求に対応した形で詳細を説明すること。作業の進捗状況等については検討会において確認していく。

【2号機シールドプラグの汚染調査状況について】

✓ 2号機原子炉ウェル内の調査結果については、東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会において議論することとしたい。

✓ 2号機シールドプラグの汚染状況調査に係る安全対策については、引き続き検討会において確認していく。

○東京電力から、コメントについては検討の上、対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

#### 6. 資料

➤ なし